

2013年1月24日(木)
メディカル・データ・ビジョン株式会社

国際的学術誌「PLoS ONE」(Impact Factor: 4.092)に掲載された
糖尿病患者での急性膵炎リスクを推定した本格的な疾患疫学研究的な学術論文で
当社の大規模医療データベースが使用されました

<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0053224>

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役:岩崎 博之)は、国際的学術誌「PLoS ONE」(1)に掲載された、糖尿病患者での急性膵炎リスクを推定した本格的な疾患疫学研究的な学術論文「Increased Risk of Acute Pancreatitis in Patients with Type 2 Diabetes: An Observational Study Using a Japanese Hospital Database」(筆頭著者:京都大学医学研究科 漆原尚巳氏、以下 本論文)で、当社の大規模医療データベースが使用されましたことをお知らせいたします。

本論文は、日本人2型糖尿病患者における急性膵炎の発症率を推定し、近年各国で報告されている2型糖尿病による急性膵炎のリスクの増加が日本人2型糖尿病患者でも同様に認められることを報告しています。また、日本の大規模医療データベースを利用し、急性膵炎リスクを推定した本格的な疾患分析疫学研究として、インパクトファクター(2)がある国際的学術誌に掲載された最初の学術論文となります。なお、本研究の開始に際しては日本疫学会倫理審査委員会による厳正なる倫理審査を受けております。

今回の研究で利用された当社の大規模診療データベースは、日本で唯一、日本の患者の年齢性別分布とほぼ一致した患者400万人以上の診療実態を日単位で分析することが可能です(3)。当該研究においては、この点が評価され当社のデータベースが使用されることとなりました。

当社は今後も、データベース研究普及の一助になるサービスを提供してまいります。

- (1) Public Library of Science社より刊行されている、オープンアクセスの査読(同分野の専門家による評価や検証)付き科学雑誌です。
- (2) ある特定の雑誌に掲載された論文が規定の期間に、1論文あたり平均何回引用されているかを算出した数値で、その分野における学術誌の影響度を示す指標です。
- (3) 当該データは、個人情報保護に関する法令を遵守し、医療情報を取扱う各種ガイドラインに準拠した運用により、セキュアなデータ取得・管理を徹底しております。

<メディカル・データ・ビジョン株式会社概要>

MDVは2003年8月の設立以来、「患者メリットの創造」と「医療制度・仕組みの改革」を企業理念に掲げ、医療データのネットワーク化に取り組んでおります。

経営支援システム「Medical Code」やDPCデータ分析システム「EVE」をはじめとする医療機関向けシステムの開発・販売のほか、医療データを活用した調査・分析を展開し、「豊富な実証データに基づいた医療」の実現を目指しております。

商 号 : メディカル・データ・ビジョン株式会社
所 在 地 : 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階
設 立 : 2003年8月20日
事 業 内 容 : 医療機関向け経営支援ツールの開発・提供

<本件に関するお問い合わせ先>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報 担当
MAIL: press@mdv.co.jp TEL: 03-5283-6911(代表)